

な お み

理念

安全・信頼・連携・地域密着
私たちは、地域に密着した病院として、他の医療機関や関係の方々との密接な連携のもと、安全で心の通った医療・保健・福祉サービスを提供し、患者さんや地域の皆さんから信頼され選ばれる病院を目指します。

「信頼され、選ばれる病院を目指して」

この夏をふりかえって

医療法人 正観会 御野場病院
院長 三浦 邦夫

夏の甲子園高校野球大会は東北勢5校が初戦突破し、2校がベスト4に入るなど活躍がめだち、その他たくさん話題を残して前橋育英の初優勝で幕を閉じました。今年の夏は記録的な猛暑に悩まされ40度を超えた地点もありました。また記録にないような大雨に襲われるなど大変な夏でした。そんな中、病院では暑い夏を吹き飛ばすような話題がありました。

ひとつめは5日に病院の駐車場を使って夏祭りが開かれたことです。竿灯の演技、雄和の和太鼓、幼稚園児のお遊戯、職員の盆踊りがあり患者さんたちも車椅子やストレッチャーで見物され、入院生活の中でひと時の癒しの時間を持てたと思います。

ふたつめは赤十字看護大学に研修に訪れている台北医科大学看護学科の学生が8月6日に当院を見学に訪れたことです。去年は男子学生もいましたが、今年は女子5名でした。昨年同様リハビリテーション部門を中心にリハビリ室、病棟、特殊浴槽、さらにデイサービスセンターなどを



見学しました。御昼は理事長を交えてお弁当を食べ歓談しました。後ほどお礼の色紙が届きました。

さらに、20日から3日間職場体験学習として御所野学院高校の一年生7名が当院を訪問しました。白衣姿で看護実技を体験し、リハビリテーションを中心に見学、デイサービスセンターも見学しました。将来看護の道に進んで当院で働いてくれたらと思います。

御野場病院では病棟の再編成を行い、2B病棟の4床室1室をリハビリテーション病棟に転用しこれまで以上に回復期リハビリテーションに力を入れることとなります。



ここ数年異常気象が続いている。局地的な雷雨、竜巻、そして激しい豪雨で山間部も濁流に押し流され、土砂災害などによる甚大な被害を被っている。一方では雨が降らずに渇水に喘いでいる地域もある。どうも地球温暖化のためらしく地球規模の物らしい。被害を被った方々の一日も早い復旧を願うものである。

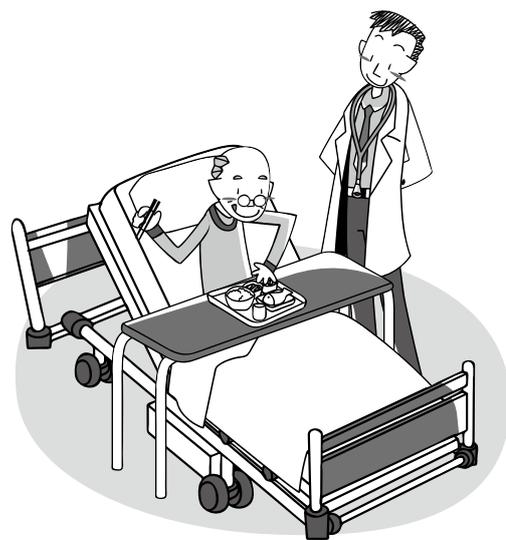
ところで、御野場病院が御野場の地に産声を上げてから35周年を迎えることができました。近頃の天候ほどではないにしても、コロコロ変わる医療行政に振り回されながらもここまで成長できたのも、偏に地域住民の皆様のご支援と職員皆の努力の賜物と改めて感謝を申し上げたい。

さて厚生労働省は、特殊疾患病棟や障害者施設等から療養病棟に転換した場合などの経過措置(来年3月31日まで)の利用実績が極めて少ないとの調査結果をまとめ、経過措置の廃止を提案した。決定は中医協総会で行われるが、当院としてもその対応に迫られていた。そこで段階的に対応していく予定であるが手始めに対象病棟(2B病棟)の病床を4床減らし、当院の診療の柱の一つである回復期リハビリテーション病棟を41床から45床に増床した。

待ったなしの医療・介護体制の改革が求められているが、社会保障制度改革国民会議は、医療提供を「病院完結型」から「地域完結型」への転換を提起した。そして機能分化とネットワーク構築によって「病

院・施設から地域在宅へ」と患者の流れをつくり、そのために「地域完結型の医療に見合った診療報酬・介護報酬に向けて体系的に見直しすること」にも取り組むべきとし、改革すべき課題の法的措置と工程を盛り込んだ“(改革)プログラム法”は10月召集が見込まれる臨時国会に提出されることになった。また日本における主たる医療提供者は民間医療機関であり「医療と介護の連携と地域包括ケアシステムというネットワークの構築」の直接の担い手に医療法人と社会福祉法人を位置づけている。

以上現在国の医療介護提供体制の取り組みの方向性を掻い摘んで示したが、わが法人も少しずつ形を整えその方向へ歩みを進めている。地域住民の皆様への包括的ケアサービスができることを願って。



台北医科大学看護学生病院見学

看護部長 鈴木 富貴子

8月6日、台北医科大学・老年健康管理学部
の学生5名が昨年に引き続き当院を見学に訪れ
ました。秋田赤十字看護大学の依頼を受け今年
で2回目の訪問でした。院内は学生と通訳の方
の流暢な中国語で一瞬、異国にいるような錯覚
さえ覚えてしまう雰囲気でした。今回受け入れ
るにあたり昨年を振り返り、通訳にかかる時間
を考慮しての時間調整と、もっとも興味を示し
ていた介護保険制度についての説明を組み入れ
ました。初めに病院の役割と概要の中で、介
護保険について説明したところ、ケアマネ
ジャーについての質問が多く飛び交いました。
また、褥瘡対策方法についても興味を示してい
ました。院内見学では機械入浴を実際に指導し
たり、デイサービス見学・病棟の実施計画カン
ファレンスに参加していただきました。昼食は、
理事長・院長にも同席していただき、日中関係

のお話から「お土産は〇〇化粧品にする」「今
日、秋田の竿灯祭りを見る」日本に滞在する1
か月のスケジュール等々、和やかな会食となり
ました。最後にみんなの笑顔を写真に収めお土
産にさせてもらいました。思い出のアルバムの
一枚にさせていただけたら嬉しいです。意欲的な
台北の学生に感化され、いつの日か台北に交流
団がいがけたらいいな・・・と思う筆者でした。



消防訓練を 行いました。

9月、夜間の出火を想定した避難訓練
を行いました。当院は、創立以来一度も
火災は発生しておりませんが、万が一の
事態に備えて、毎年訓練を行っています。
秋田南消防署の協力の下、車椅子やスト
レッチャーでの搬送、シーツを使った非
常滑り台による非難訓練を行いました。

リハーサルや打ち合わせを行って
いても、いざ本番になると、細かいところ
で確認の漏れや、連携不足がみられること
があり、定期的な訓練で、体に覚えさせ
ることがとても大切であることを改めて
認識しました。

もちろん、当院では実際に避難を行う
ことのないよう、日ごろから設備等の保
守点検をしっかりと行っておりますの
で、ご安心いただければと思います。



泌尿器科外来が開設されました。

今年の8月より、泌尿器科外来を開設いたしました。
 担当医師は、三浦邦夫院長です。毎週水曜日の午前、診療を行っております。
 お気軽にご相談ください。

◆診療担当医表

		月	火	水	木	金
午前	内科	寺田 邦彦	三浦 莊治 金谷 有子	多田為久子	三浦 莊治 金谷 有子	寺田 邦彦
	泌尿器科			三浦 邦夫		
午後	内科	鎌田 誠		寺田(第1・3・5) 市原利晃(第2・4)	三浦 莊治	
	リハビリ・内科		小林 佳美			三浦 忠俊

※出張などにより、担当医が変更になる場合がございます。指定の医師をご希望の場合は、事前にお問合せください。

◆診療時間

	午前	午後
月～金	9時～12時	1時30分～3時

※午前の受付は11時30分までをお願いします。

◆休診日

毎週土曜・日曜、祝祭日、年末年始



外来待合室



診察室



当院では、ご自宅で療養している患者さんや家族の方が、安心して生活できるようサポートしております。

訪問診療では

お身体が不自由で通院が難しい方、寝たきりの方、退院後のケアが必要な方のために、医師が定期的かつ計画的にご自宅にうかがって診療をいたします。

訪問回数

おおむね月に1回ですが、患者さんの状態に合わせて回数を調整します。

当院の訪問診療での診療内容

- * 定期的な診察（血圧測定・処方箋発行など）
- * 血液検査・尿検査
- * 注射・点滴
- * 経管栄養チューブ管理（胃瘻・経鼻・腸瘻）
- * 尿管カテーテル管理
- * 褥瘡（床ずれ）処置
- * 在宅酸素療法・気管切開カニューレ管理
- * 人工肛門管理 など



連携体制について

訪問看護ステーションやヘルパーステーションと連携して活動しております。

また、当院では秋田往診クリニックとの往診連携も行っておりますので、24時間体制での診療も可能です。

入院が必要になったときは

希望する病院へ紹介いたします。

当院への入院が可能な場合は、速やかに手配いたします。

訪問診療を希望される場合は

医療相談室または、外来看護師（訪問診療担当）までご連絡ください。

夏祭り

8月5日(月)に第17回御野場病院「夏祭り」を開催しました。催し物は雄和太鼓、本町5丁目竿燈会による竿燈妙技、あおぞら保育園児による歌と踊り、職員による盆踊りでした。雄和太鼓では、追真の鉢搦きにみなさん見入っておられました。

竿燈では、手拍子と「どっこいしょ～どっこいしょ」の掛け声が会場に湧いていました。

保育園児の歌と踊りでは、みなさん自分のお孫さんを見ているかの様に、終始にこやかに顔をほころばせていました。

今年もご協力いただきましたボランティアの皆様がこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



敬老会

9月12日に御野場病院の敬老会が行われました。患者さんを会議室に招き、民謡の披露、手品、職員によるカラオケを披露し、患者さんに喜んでいただきました。

また、入院されている患者さんが描いた絵画の展示も行いました。馴染みのある民謡の音色に、みなさん大変喜んでおられました。



御所野学院見学

8月20日(火)～22日(木)御所野学院高校の体験学習を受け入れました。先輩ナースの体験談、CPR(心肺蘇生)訓練人形を用いての心臓マッサージ、血圧測定、車椅子患者の移動介助、ベッドメイキングを体験されました。

病院での体験に目を輝かせ、とても関心をもって3日間の職場体験を無事終了されました。



栄養科より



今回は、6月の『夕食会』についてご紹介します。

6月は『秋田』をテーマにし、秋田の初夏の味覚を味わってもらえるような料理を、提供しました。

メニューはジュンサイのお吸い物、笹巻き、サラダかんとん、とんぶりサラダ、ハムフライ、いぶりがっこでした。

笹巻きは、事前に患者さん1人1人に希望の個数を聞き取りました。患者さん達は『懐かしいな、楽しみだな』と、夕食会を心待ちにしている様子でした。



笹巻きは、もち米を使用しているため、当日は咽や食後の胸焼けを心配しましたが、皆さんおいしく召し上がったようでした。

患者さんからの感想は、『笹巻きが珍しかった』、『いぶりがっこがおいしい』など、全体的に好評価でした。

暑かった夏も終わり、おいしい物が満載の秋を迎えようとしています。

今後も、地域や季節を感じてもらえるような料理を、提供していきたいと思っております。